

第9回帯広市産業振興会議 議事要点

■日時：平成22年2月18日(木)17:00~19:00

■場所：帯広市役所10階第5A会議室

○観光交流拠点施設について、提言書、産業振興ビジョンにおける位置づけ等の整理と、事業趣旨・経過等の説明を行った。

主な質疑、意見は以下の通り。

・観光交流拠点施設に対する、この産業振興会議がどんな役割を果たすのかをはっきりさせて、ビジョンに基づいてどうするかが、大事だと思う。今回はその具体化ということで、ある意味非常に期待はしている。これを活かしていこうと、ここを本当に観光のための役に立つ拠点施設としてなるのか、また、なるためにはどうするのかという立場でこの会議できちっとした意思をまとめておく必要があると思う。

・雇用創出の目標100名くらいということだが、失業者多い中で、何パーセントが新規雇用なのか。

⇒(市)ここでの創業・起業の方をターゲットに公募したいということかちむらの考え方である。そういう意味では、新たな雇用であることは間違いないと思う。

・観光交流施設の意味は、どういう意味か。この施設で、産直市場を設けるが、これは、誰を対象にした施設なのか。フードマルシェという言葉があるが、これは何語か。

⇒(市)観光客をターゲットにしているが、それ以前に地元の人に支持されないといけない、地元の方々にまず支持され、観光客についても支持をいただける、そういった方々が共に賑わう、交流する場所を目指すのが一つである。フードマルシェは、先方からの提案である、この辺の文言についてもとかちむらと整理できるのであればそうしたい。

・地域の人に愛されるということが、観光施設の大前提である。観光施設とするためには、まず地元が愛することが必要である。産直市場にしても、宅配業者が自宅宛に送れるぐらいの仕組みを盛り込むとか、そういったことが最低限必要だと思う。

・目指すところ、観光交流人口の増加だと思う。今の経済情勢が続くという消極的ではなく、もうちょっと意欲を感じさせるようなものであって欲しいと思う。横ばいの数字があるということは、ばんえい競馬に来場する人がそもそもあまり伸びないだろうから、これもそんなに伸びないと考えているとしか思えない。それと別に、やはり、観光交流施設として、ここを整備していくということで考えれば、もうちょっと意欲的なものであって然るべきだと思う。

・本当に拠点施設にしようとするなら、これによって観光客数を倍にするとか、そういう目標を持つ中でのこの施設という位置づけにしないといけない。しかし、本当に魅力あるものを作って、そこに管内・管外からも人をうんと集める、高速道路を逆に活かす形で取り込むと考えたならば、やはり、観光客の入り込み数も、ぐっと増やしていくという目標をきちっと据えないと取り組みも曖昧になっていく可能性もある。例えば、食がメインとなっているが、この施設を作るとしたら、これだけで逆に良いのかということが出てくると思う。それは、今回全部詰め込むというのではなく、そういう先を見越したような展望した中での施設というふうにするべきである。そうしないと、逆に言えば、市民にも、「また箱もの作る」と言う程度の理解のされ方だと思う。この点も参考に検討して欲しい。

・売上がここに達成しなくても、経営に支障がないように見積もっておくということ。目標とは違うと思う。我々の意見がどうなるのか、何に使われるのか、そこが分からないので、とりあえず言いたいことは言っておきたい。

⇒（市）この会議で出た意見は、基本的には、予算さらには事業の執行にも参考にさせていただき、取り入れられるものは、積極的に取り入れていくという思いで、この会議は開いて頂いている。ご理解頂きたい。

・この事業収支計画は、それなりの人間が見たら、収支差し引きの欄から下から上に上がっているものと思えない。だから、赤字でも駄目だし、あまり大幅な黒字でも駄目だから、この数字ならいい感じと、パンカーの方や数字が分かる方は、禁じ得ないのかなと正直思う。今後、こういう形でやるのであれば、交流人口を増やすのであれば、最初は少なくとも、2年目、3年目どんどん増えるような数字が、やっぱり頑張ろうねということになるのかなと気がする。

・ターゲットをきちっと明確にしていかないと、何でもかんでもお客さんを呼び込もうというのは、非常に特徴のない施設になってしまうのではないのかと思うし、ここにすれば、「帯広にこんなおいしいお店があったね」、あるいは、友人にどこがいいかと聞いたら、「あそこの競馬場の施設に〇〇レストランあるよ」という特徴付けが必要な気がする。

⇒（市）おっしゃる通りだと思う。SPCはまさしく、集客できるようなお店、テナントを入れたいという思いが非常に強く、想定されるお店の中で、今取り組んでいると思う。ここの施設で、できれば、北海道の中でも特に「十勝のブランド」が知名度あるので、お客に来てもらい、食べていただくことが、必要だと思う。そういった取り組みをこの会社にもやっていただきたいと思っている。

・こちらから、アクションを起こして、こういうような交流拠点にしたいので、こういうお店とこういうお店・・・是非ともここにもって来なくてはいけない、それがないと、この特徴が出ないという感じがする。

⇒（市）公募中でも、試食会も3段階くらいに分けて、試食して選考していくという考

えのようである。公募の前に、実は、市内の有名店であるとか、産直であれば、生産者団体等、既にあたりも付けている。レストランにしても、スイーツの店にしても、個別に十勝村で評価をしているところについては、個別に既にあたっている。そういう意味で、十勝を代表する様なお店の参画が求められるものと思っている。全てが公募で、お店を決めるというものではないということをご理解いただきたい。ただ、公募もそれなりの十勝の食材を使っていただく所に限定されるし、選考の中で選んでいきたいことが十勝村の考えである。

公募と一本釣りを両方並行してやっていくということである。

・今の質問は、事業者の戦略的な姿勢が、明確ではないのではということではないか、という懸念だと思う。

・拠点を作る時には、そこに入っている店は、非常に重要なキーになるファクターである。建物が特別面白いものを作るのなら、建物が重要なファクターになるが、これは、中に入っているお店がファクターになるので、そこが見えないと、何か頑張っているみたいだ、そうかなって感じである。

⇒(市)産直ディリーマートの方は、想定商品としては、野菜や果物、場合によっては、加工品の肉、こうした日配品も含めて、販売する。生産者団体直売所は、管内の農協の商品、これは農産物が主体、小区画専門店については、加工食品・惣菜等々を想定している。十勝ファーマーズファミレスについては、できるだけ十勝の食材でメニューを作るというこだわりを持っているので、こうした想定メニューを出すお店、ピッツェリアは、できれば100%に近い地場の材料を使って、ピザを作りたいとのお話しであり、こういう施設は帯広にはないというのは、間違いない。こうしたお店が1カ所に集積することは、地元の方も、観光客も非常に買い求めやすいし、非常に楽しんでもらえると思う。十勝の食の情報の発信としての役割は大きいと思っている。

・ここであれば、この施設でしか食べられない限定のものを出すだとか、コーディネーターする側、ソフトが非常に重要じゃないかなと、観光客は十勝の有名な店があればそれで喜んでもらえるが、地元の人でもあそこに行ってみようと思うためには普段の近くのお店では食べられないメニューがあそこだけにはあるということだとか、何か付加価値がないと地元の人には行かないと思う。そういう意味で、コーディネーター役をやる方が入ってもらわないと、多分考えられていると思うがソフト力にかかっていると思う。

・是非、検討して欲しいことが2つある。一つは、観光拠点としての役割として、ここに行けば十勝の観光地が全部分かるとか、こういったものを手に入れたいがどこに行けば良いとか、そういう情報や案内の拠点になるという意味で、この施設がどうなるのかが一つ。もう一つは、駐車場とアクセス。これが順調に機能して来ると、相当の車の数が入り出すと思う。相当な駐車台数と、車の出入り方法、今も実際は非常に詰まる状態で流れが悪くなる。特に女性が気楽に来られるように考えると、やはり出入りもしやすく、車も

止め易いというようなことが絶対必要だと思う。是非検討願いたい。

⇒（市）ごもっともなご意見ばかり。観光地が全て分かる拠点施設の件については、既に、十勝村では、コンベンション協会とも意見交換しており、施設の中にどう入れるかというお話しはこれからだが、そこで働く方には十勝のPRを十分できるような人材としたい、お店としても教育したいという話は伺っている。駐車場の出入りの話については、議会でも、説明会でも、同じような意見をいただいている。アクセスの問題でも、出ていた。特に出入り口については、私どもも現地に行き、いろいろと検討に加わっている。その辺は、十分配慮していく。これからも検討を深めてまいりたい。

・ここに、車でたくさんのお客が来るとなると、競馬に来たお客は駐車場から締め出されることになるのか。競馬場に人が来れなくなるということか。

⇒（市）日曜日が、高速を使ってくる道央圏からくるお客ともともと競馬場にくるお客と、一番増えると思うので、その時に、今の駐車場で全て飲み込めるのかということは、心配している。心配するだけお客が来てくれればそれに越したことは無い。拠点施設ができて、北側の駐車場で飲み込めない時には、そうした方法も土地所有者である農協連と協議しながら、対応していかなくてはならないと思っている。

・リスクが市もとかちむらにもあるのだろうが、頑張ってやって欲しいことをお願いしたいと思う。よろしく願います。また、メンバーの要望事項など、十分に反映させてくださるようによろしく願います。

⇒（市）今、会長からお話しあったとおり、これまで、1月9日頂いたご意見、本日頂いたご意見を十分踏まえて3月議会に予算を提案させていただく。今回頂いたご意見を踏まえながら、議会の対応を含めて、取り組んでまいりたいと思っている。引き続き、ご支援をお願いしたいと思っている。

（了）